

カチオン系アクリル酸エステル合成高分子エマルジョン
セメントモルタル混和用エマルジョン

エレホンポリマーA

ポリマーAは、カチオン系アクリル酸エステル合成高分子エマルジョンからなるセメントモルタル混和用エマルジョンです。

現場配合モルタルに添加することにより、モルタルの接着強度、曲げ強度、防水性等を向上させます。

特 長

- ▶ 混入することにより、下地への接着性を高め、引張強度、曲げ強度、防水性、耐摩耗性、耐衝撃性等を向上させることができます。
- ▶ 混入することにより、急激な乾燥収縮によるひび割れを抑制することができます。

用 途

- ▶ セメントモルタル混和用エマルジョン

配合及び材料使用量

●混入工法(配合例)

ポリマーAをセメントに対し重量比10%程度混入する。

・混入配合例 (塗布厚:20mm程度, 塗布方法:コテ塗り)

用 途	配 合 (kg)			
	セメント	ポリマーA	水	砂(細骨材)
現場配合モルタル(床面)	25	2.5	12~16	75

※この配合例での砂は乾燥状態です。現場で使用する際は含水量に応じた補正を行って下さい。

施工要領

1. 下地処理

脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等、モルタルの性能を阻害しないよう十分な下地処理を行う。

2. 吸水調整

下地に浮き水がない状態でポリマーAの2~3倍液(ポリマーA:水=1:1~2)をコンクリート面に塗布する(標準塗布量:水希釈液で200g/m²)。塗布液が指触乾燥するまで(目安:塗布後1時間程度以上)養生する。

3. 混 練

セメントと砂をあらかじめ空練りしよく混ぜ合わせ、所定量のポリマーA及び水を加えて、モルタルミキサー等で十分に攪拌する。

4. 塗り付け

深い凹部がある場合は、先にその部分を充填する。薄く擦り付けた後に所定の厚みに仕上げる。モルタルの締り状態を確認し、適宜に金コテを用いて表面を平滑且つ緻密に仕上げる。

5. 養 生

施工後1日は雨水等を避けて養生する。その後は現場状況に応じ必要な期間養生する。

● 荷 姿



18kg缶



4kgポリ容器

性 能

●性状

主 成 分	アクリル酸エステル合成高分子エマルジョン
外 観	乳白色液体
全固形分	45.6%
比 重	1.04
粘度(mPa・s)	127

●JIS A 6203:2000(セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂)によるポリマーA混入モルタル物性

試験項目	試験結果	品質規定
曲げ強さ(N/mm ²)	13.3	8.0以上
圧縮強さ(N/mm ²)	57.3	24.0以上
接着強さ(N/mm ²)	2.30	1.0以上
吸水率(%)	2.5	10.0以下
透水量(g)	1	15以下
長さ変化率(%)	0.030	0~0.150

注) 上記は公的機関や実験室で試験を行った結果であり、品質保証値ではありません。

●本資料について

- ・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。
- しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- ・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

● 使用上の注意

- ・ご使用に際してはMSDS(製品安全データシート)をよく読んで下さい。
- ・取り扱い時は、保護手袋、保護眼鏡等の適切な保護具を着用して下さい。
- ・製品は直射日光を避けて5~35℃で保管して下さい。
- ・施工・養生中に降雨、降雪、強風が予想される場合は、施工を見合わせて下さい。
- ・施工・養生中に5℃以下が考えられる場合は、凍害防止のため採暖を行って下さい。
- ・吸水調整で、塗布量が少ないとドライアウトを防止できないことがあります。乾燥後に水を吹きかけて、水をすぐに吸水しないことを確認して下さい。すぐに吸水した場合は再塗布して下さい。吸水抑制効果が見られた場合は、それ以上塗布しないで下さい。
- ・混練に高速ミキサーを使用した場合や過度の攪拌をした場合に、エアの巻き込みにより強度低下を生じることがあります。
- ・施工後に長時間の直射日光が当たる場合はシート養生を行って下さい。
- ・飲み込んだ場合は、無理に吐き出さず、水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・目に入った場合は、清浄な流水で15分以上洗眼した後、医師の診断を受けて下さい。
- ・皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水と石鹸で十分に洗い落として下さい。かゆみ・炎症が出た場合は、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- ・廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。許可を受けた場所以外への廃棄は絶対にしないで下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エレホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

●本 社 ・ 工 場	〒870-0141	大分県大分市三川新町 1 - 2 - 23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●い わ き 工 場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平 30 - 3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大 阪 支 店	〒532-0003	大阪府大阪市淀川区宮原 5 - 1 - 3	TEL (06) 6842-7500	FAX (06) 6842-7544
●福 岡 支 店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤 1 - 9 - 10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関 東 ・ 東 支 店	〒340-0055	埼玉県草加市清門 1 - 248 - 3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
●仙 台 支 店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町 6 - 2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名 古 屋 支 店	〒463-0048	愛知県名古屋市中区小幡南 3 - 5 - 21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂 5 条 3 - 2 - 32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央 3 - 6 - 11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
●新潟営業所	〒950-0963	新潟県新潟市中央区南出来島 1 - 10 - 23	TEL (025) 280-9282	FAX (025) 283-6262
●関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭 2 - 5 - 5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
●関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台 19 - 24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町 2 - 11 - 25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町 3 - 75 - 1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合 2 - 41 - 22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城 1 - 19 - 1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山 2 - 14 - 47	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原 1 - 51 - 25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●埃工レホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜 5 2 2 6 - 13	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●埃工レホン・技研岡山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町 1408 - 1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230